

【榛東村】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

本村では、榛東村教育振興基本計画において、「将来に向け、生きて輝く力の育成」を教育政策の一つとして掲げ、「確かな学力の育成」を目標に掲げている。

ICT機器の利点である「即時の共有」「保存性」などを踏まえた上で授業の質を向上させるためのツールとして積極的に活用したり、導入しているアプリケーションを効果的に活用することで、家庭学習における補充、復習、予習に効果的・効率的に取り組めるようにしたりすることで、ICT機器の利活用による授業と家庭学習の高度化を目指している。

2. GIGA第1期の総括

国のGIGAスクール構想を受け、本村では、令和2年度までに村立小中学校の全児童生徒に対し、1人1台端末の整備を完了するとともに、高速通信ネットワークや無線LAN環境の整備を行い、ICTを基盤とした新たな学びの確立を進めてきた。

また、ICTの効果的な活用のため、令和3、4年度には、群馬県教育委員会のICT活用促進プロジェクトに参加し、公開授業や実践発表を行い、1人1台端末の有効な活用について研究を進めてきた。また、本村の中学校がパナソニック教育財団の第47回特別研究指定校に選ばれ、ICT技術を活用した授業研究の在り方についても研究を進めた。

今後も授業内におけるICTの有効な活用の在り方について研究を進めていく必要がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

端末を使用することが目的とならないよう、ICTを活用する利点を十分に理解した上で、学び合いなどの中で積極的に活用を図っていききたい。また、児童生徒が探究的な学びに取り組む際に、1人1台端末を十分に活用できるよう、情報活用能力についても向上を図っていくことで、活用したより深い学びにつなげていきたい。

また、端末の家庭への持ち帰りについても必要に応じて実施していく。家庭学習や保護者との連携や臨時休業時のオンライン授業等を実施するなど有効的な活用方法について研究していききたい。